



新屋図書館だより



発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 254

R5. 4月号

ものまちさんぽコラボ！「めざせ！あやマスター☆」

新屋地域で開催される「ものまちさんぽ～2023春」に関連して、

図書館ウォークラリーを開催します！

コースは難易度別にめばえ・ふたば・あおばの3種類。

館内のチェックポイントにあるクイズを解いてキーワードを集め、ゴールを目指そう！

日 時：4月22日（土）・23日（日）10：00～16：00

参加方法：図書館のカウンターにお声掛けください。説明を聞いて、問題用紙を受け取ったらスタート。ゴールにたどり着けたら良いことがあるかも…？



春のブックフェア「だいすき☆キャラクターズ」

皆が知っているあのアニメ、子どもに大人気の正義の味方絵本の中のカワイイあのこ。

こどもの読書週間に併せて、色々なキャラクターに関する資料の展示・貸出しを行います。

ご家族皆さままでお楽しみください！



期間：4月18日（火）～5月21日（日）

場所：渡り廊下



4月のおはなし会

4月1日（土）
14：00～14：30

ともだちになろうよ

～絵本・手遊び～
(おはなしのへや・
幼児～小学生)

4月11日（火）
10：30～10：50

はるですよ

～絵本・指人形～
(おはなしのへや・
赤ちゃん～)

「朝のこどもとしょかんタイム」 が始まります！

日時：4月8日（土）
9：00～9：55

対象拡大！

対象：小学生以下の子どもとその保護者

開館前の図書館で、ゆっくり本を読んだり、木のパズルで遊んだり・・・
子どもが自由に図書館を楽しめる時間です。
ぜひご参加ください！

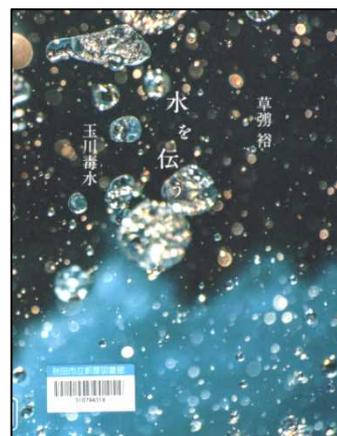
新刊案内

水を伝う 玉川毒水

草薨 裕／著

クレヴィス 請求記号 A748 (写真集)

上流から吹き出す強酸性泉により草木も寄せ付けない死の川、玉川。下流域では多様な生き物が生息していますが、依然として酸性度は高く、深くエメラルド色に光るその姿は恐ろしくも美しい…。仙北市出身作家が玉川の流れ、飛沫の激しさを10年以上追いつけて捉えた写真集です。



食をめぐる「菌」の話

今野 宏／著

産学社 請求記号 A588.51 (発酵)

発酵食品に欠かせない「種菌」を製造・開発して食品メーカーなどに提供し、米経済雑誌『フォーブス』では「和の発酵食品を支える菌の銀行」と紹介された“もやし屋”秋田今野商店。その社長である今野氏が、食にまつわる微生物の世界をわかりやすく案内してくれます。



ウクライナの料理と歴史

オレナ・ブライチェンコ、マルイナ・フルイミッチほか／著

小学館 請求記号 596.23 (ウクライナ料理)

一流シェフが監修したウクライナ料理のレシピを80点掲載。どれもカラフルでウクライナの多様な地域性が表れています。さらにそこに添えられるマナー、食の歴史、慣習についての記述が非常に豊富で、料理を通して人々の暮らしが見えてくるような1冊です。



かむもかまぬも神だのみ めちゃヘンな早口ことば

大谷 健太／著

小学館集英社プロダクション 請求記号 80 (早口言葉)

「桃も煮物もナマケモノのものなの」「腹痛中普通服作る?」「急にきゅうり9本食う子急増」。どういふ状況?!思わずつつこみたくなる早口言葉の数々を、味のあるイラストとともに。油断は禁物。後ろのページにストーリーが続いている場合もあるぞ。君はこれを笑わずに言えるか?



図書館員（南都 奈緒子）のおすすめ本

書名

としょかんライオン

著者名

ミシェル・ヌードセン／さく、ケビン・ホークス／え

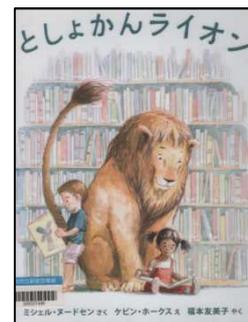
出版社

岩崎書店

所蔵

市立図書館全館

請求記号 Eホ （絵本）



図書館にライオンがいたらステキです。しっぽで百科事典のほこりを払ってお掃除。おはなし会では、子どもたちがライオンにもたれかかってゆっくり。お客さんへの手紙に封をするため、長い舌で封筒をペロリ。ライオンは、図書館の中では走らない、大きな声を出さないというきまりを守って、仕事を手伝います。けれども、館長がケガで倒れたときライオンは…。

さて今年、新屋図書館は移転25周年、大森山動物園は開園50周年を迎えます。これを記念してコラボ事業を企画中です。司書が動物園に本を持って行ったり、飼育員さんが図書館で本を紹介したり。動物と図書館って、一見縁が遠いものと思われるかもしれませんが、この絵本のように、実は相性がいいんです。本当に『としょかんライオン』みたいなことが実現するかも。

図書館員（石井 美海）のおすすめ本

書名

うさぎのくに

著者名

デニズ・トレッツ／作、アラン・トレッツ／絵

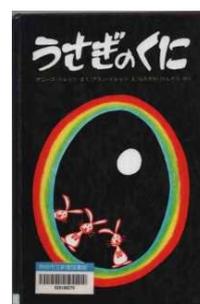
出版社

ペンギン社

所蔵

新屋、明德、雄和

請求記号 Eト （絵本）



ユニークでかわいらしいうさぎのおはなし。「一ぴき・二ぴき・三ぴき、、」どんどん増えていき、あっという間にうさぎのくにへ。

ある日、仲間どうして遊んでいるとかんむりを見つけます。「このかんむりでおうさまを決めよう！」さて、どう決めたのでしょうか？

このかんむりでさまざまな事が起こってしまうなんてこのときはまだ誰も思っていない。

みなさんは、かんむりというとどんなことを思い浮かべますか？きらきらと輝いていて特別な物ですが、この物語ではつけてみると悪いことばかり。仲間との仲も悪くなってしまいます。果たして、うさぎたちは元のように戻ることはできるのでしょうか？

子どもはもちろん、大人の方々にもぜひ読んで頂きたい1冊です。

記事になったお酒の話題あれこれ…クラフトビールペーパー…

クラフトビールを醸造する過程で発生する「麦芽かす」を再生紙に生まれ変わらせる取り組みが注目を集めています。

独特の風味や豊富な種類で人気のクラフトビールですが、小規模な醸造所には大量発生する“ごみ”の処分が大きな負担でした。そこで地域の課題解決を目指すスタートアップ企業「kitafuku」（横浜市西区）が開発したのが「クラフトビールペーパー」です。奈良県の紙の卸問屋が米や牧草から再生紙を作る取り組みに着想を得たこのクラフト紙は、醸造所から無償で回収した麦芽かすから製造されています。出来上がった再生紙は段ボールやドリンクホルダー、メニュー表に姿を変え、ビールのイベントなどで活用されています。

資源を無駄にしない新しいリサイクルに、期待が高まります。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】

毎日新聞

2023年2月7日

今、あなたへ…心機一転！…

長い冬を乗り越え、春の陽気とともに気分が上がり行動的になるこの時期。何か始めたい…！という方におすすめの本を紹介します。

まずはイメチェンから！『悩みをアジに変えるオヤジの着こなしルール』（本江 浩二／著、世界文化社）は歳を重ねる中で体型やファッションに自信がなくなってきた「オヤジ」たちの悩みを解決。毎日の洋服選びが楽しくなりそうな1冊です。

習い事を始める人も多いのでは？『そうだ！音楽教室に行こう』（大内 孝夫／著、音楽之友社）では、大人の音楽教室の魅力を紹介。音楽がビジネスにも役立つという嬉しい効果も。

最後は、家族みんなで何か始めたい人へ。『家族ではじめる、小さなカフェ』（渡部 和泉／著、旭屋出版）。家族で開業するためのテクニックが詰まっています。どの家族も楽しそうで心が温まります。

図書館でこの春始めたいことを探してみるのも面白いかも！？



図書館員のひとりごと

このたびの人事異動により16年間勤めた新屋図書館を離れることになりました。

地域に根ざした遣り甲斐のある仕事が多く、その中で市役所思考がいかにか狭い視野であるかを実感し、「時間をかけるべき業務はどれか」「今やっていることは市民側を向いているか」を考える習慣がついたように感じます。

利用してくださる方々、西部地域にお住まいの方々、秋美の教職員・学生さん、附属学院の生徒さん、NPOの皆さん、醸造に携わる方々…多くの出会いは私にとって大切な宝ものです。みんな大好きです！新屋で働けて良かった！ありがとうございました！（大石）

短いけれど濃い一年でした。採用一年目に新屋図書館に勤務できて、とてもよかったです。毎朝の通勤ルートで、雄物川ごしに広い空と新屋の町並みが見えてくると、今日も頑張るぞ！と気持ちが明るくなりました。

私も娘も大変お世話になった「おはなしのしずく」の皆さん、下手っぴなブックトークを聴いてくれた日新小学校のみんな（緊張したけど楽しかった！）、図書館にお越しくくださった皆様、本当にありがとうございました。

皆様にとって新屋図書館が、これからも楽しく、明るく、ワクワクする場所でありたいように。明德館にも遊びに来てください！（南都）